



校 訓 「自 主」 「勤 労」 「規 律」 「情 操」
学校教育目標 「自ら学び、互いに協力してやり抜く生徒の育成」

り よ う き よ く
菱 旭

気仙沼市立階上中学校
学校だより 第7号
令和4年10月7日

「終業式 式辞」

校長 一丸孝博

夏休みに入る前の終業式でないというのは私にとっても初めてで、まだしっくりきません。皆さんはいかがですか。明日から4日間は「秋休み」となります。正確には、気仙沼市教育委員会では10月の第2月曜日の次の日を秋季休業日と定めています。明日、明後日の土日、スポーツの日の月曜日と併せて計4日間の休みとなるわけです。

昭和30年代までは、農村地帯の学校には「農繁期等における休業日」というのがありまして、子どもたちが稲刈りを手伝ったのだそうです。「中間休み」とか「稲刈り休み」と呼んでいたそうです。5日間から10日間ほどの休みだったそうですよ。もしかしたらこの中にも、明日からの4日間で稲刈りを手伝う人がいるかもしれませんね。

さて、私は入学式で、二つの願いを話しました。新入生の皆さんに贈る言葉でしたが、2、3年生の皆さんも聞いてくれていたことと思います。

一つ目は、「高い志を持ち、挑戦しましょう」ということでした。いかがでしたか？チャンスを逃さずに、失敗を恐れずにチャレンジすることで、新しい自分を見つけることができたでしょうか。

「勇気を出して挙手して発言してみた」「やったことがなかったけれど語り部に参加してみた」「陸上や駅伝に挑戦してみた」「探究学習で自分から行動してみた」「職場体験で思い切って大きな声で挨拶してみた」「委員会などで立候補してみた」等々、どんなことでも良いのです。

「思い切ってやってみた」という経験は自信につながります。そして間違いなくあなたを成長させます。みなさんには今、その権利があります。挑戦し、自分をもっと成長させて良いのです。あなたの挑戦は、あなたのためにもなりますし、実はあなたが所属する集団のためにもなります。集団に所属するみんながそういう気持ちを持っていると、挑戦しやすい雰囲気ができますね。そんな雰囲気をみんなで作っていきましょう。階上中は「エール」の伝統が根付く学校です。周りの仲間の“挑戦”を応援し、励ます、そんな階中生であることを期待します。

二つ目は「他人を、そして自分を大切にしましょう」ということでした。周りの人の命がたった一つの命であり、その出会いはたった一つの出会い、そういう思いを持って周りの人と接することを、これからも心がけてください。

このあと担任の先生から通信票が渡され、99日間の一学期が終わります。みなさん、明日からの秋休み中は、自分のこれまでの取組をじっくりと振り返り、今よりもさらに向上するためにはどうすれば良いかを考えてほしいです。そして来週水曜日、皆さんが新たな目標をもって元気に登校することを期待しています。

これをもちまして、一学期終業式の式辞といたします。